

受験番号

学校教育領域

令和5年度

筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題（10月実施）

専門科目

(13:00～15:00)

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 専門科目の問題用紙の枚数は、問題I（共通：英語の文献による出題）が2枚、問題II（分野ごとの出題）は【スクールリーダーシップ開発】【芸術科教育】【保健体育教育】が1枚、【英語教育】が2枚、問題III（分野ごとの出題）は【スクールリーダーシップ開発】【芸術科教育】【保健体育教育】【英語教育】がそれぞれ1枚です。
4. 問題I（共通：英語の文献による出題）は分野で共通の問題です。志望する分野にかかわらず、必ず解答してください。
5. 問題II/III（分野ごとの出題）は【スクールリーダーシップ開発】【芸術科教育】【保健体育教育】【英語教育】の4分野のうち1つを選択して解答してください。選択する分野は問題IIとIIIで同一としてください。
6. 各問題に対応した答案用紙を使って解答してください。また、使用する答案用紙の枚数は、各問題の指示に従ってください。答案用紙には解答する分野及び問題の番号を明示して下さい（例：II. スクールリーダーシップ開発分野 問題2）。答案用紙のホチキスは外さないでください。
7. 各問題の指示に従い、日本語または英語で解答してください。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（I. 共通：英語の文献による出題）

2枚のうち1枚目

次の英文の [] で示した空欄に当てはまる最も適切な語句を、2枚目の A～C の語群から選び、記号を解答用紙に書きなさい。ただし、各選択肢は一度しか使えないこととする。

(Read the following passage and choose the most appropriate word or phrase for each blank from the A-C boxes on the next page. Write the alphabet on your answer sheet. Each option can be used only once.)

(著作権法に基づき削除)

(著作権法に基づき削除)

(出典：Nathan Bond ed., *The Power of Teachers: Their Roles, Influence, Impact*, Routledge, 2015, pp.10-11 より抜粋)

A 群

- | | | |
|---------------------|------------|-----------------|
| (a) teacher leaders | (b) worse | (c) improve |
| (d) mentees | (e) better | (f) backgrounds |
| (g) struggle | (h) find | |

B 群

- | | | |
|------------------|---------------|----------------|
| (i) mentors | (j) tensions | (k) supporting |
| (l) interrupting | (m) personnel | (n) students |
| (o) mentees | (p) uneasy | |

C 群

- | | | |
|------------------|------------------|-------------------------|
| (q) how to teach | (r) how to break | (s) transformative role |
| (t) few | (u) how to build | (v) supportive role |
| (w) how to study | (x) a number of | |

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（II. スクールリーダーシップ開発分野：教育経営に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の2つの問題から1つを選択し、答案用紙1枚以内に日本語で解答しなさい。

問題 1.

近年、教員以外の様々な専門職（specialists）を学校に配置する動きがみられる。その背景を説明し、教員も含めた専門職間での協働（collaboration）の課題と、その改善方策について論じなさい。

問題 2.

キャリア教育（career education）を進めるうえで、文部科学省は2019年3月29日付事務連絡「『キャリア・パスポート』例示資料等について」の中で2020年4月より「すべての小学校、中学校、高等学校において実施すること」を指示している。

- ① 「キャリア・パスポート」とは何か説明しなさい。
- ② それを活用したキャリア教育の在り方について論じなさい。

専門科目（III. スクールリーダーシップ開発分野：生徒指導に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の 2 つの問題から 1 つを選択し、答案用紙 1 枚以内に日本語で解答しなさい。

問題 1.

我が国の発達加速 (developmental acceleration) の状況について、成長加速と成熟前傾の両方の側面から論じなさい。

問題 2.

子どもの自殺 (suicide) が起きたとき、主に数日以内の事後対応を行う際に、教師が留意すべき点について論じなさい。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（II. 芸術教育分野：教科専門に関する問題） 1枚のうち 1枚目

以下の問い合わせに日本語で解答しなさい。

問題 1.

あなたが中学生を対象として対話型鑑賞を行う場合、どのような実施方法があるのかについて説明しなさい。さらに、具体的な美術作品を1点挙げて、その作品についての対話型鑑賞でどのような対話内容が想定できるのかについて、答案用紙1枚以内で述べなさい。

専門科目（III. 芸術教育分野：教科教育に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の問い合わせに日本語で解答しなさい。

問題 2.

美術教育において学習者の多様な自己表現力を育成するために、どのような方策が考えられ、また、その方策にはどのような難しさがあるのかについて、具体的な実践例、または実践案を挙げながら、あなたの考えを答案用紙1枚以内で述べなさい。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（II. 保健体育教育分野：教科専門に関する問題） 1枚のうち 1枚目

以下の問い合わせに日本語で解答しなさい。

問題 1.

子どもの体力・運動能力の発達について、一般的にはいつ頃、どのような体力・運動能力が発達するか説明しなさい。また、それを踏まえた、発達段階に応じた指導の在り方を運動指導の至適期の観点から述べなさい。

専門科目（III. 保健体育教育分野：教科教育に関する問題） 1枚のうち 1枚目

以下の問い合わせに日本語で解答しなさい。

問題 2.

体育教師に求められる資質・能力の中で、授業を実践する上で必要な知識について、コクラン（Cochran K. F.）が提唱した「学習者の実態に合わせて指導内容や指導方法を適用できる知識」を構成する4つの知識を説明しなさい。実際の体育授業を例にとって具体的に説明し、なぜそれらの知識が必要なのか、あなたの考えを述べなさい。

【 令和5年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（II. 英語教育分野：教科専門に関する問題） 2枚のうち 1枚目

以下の問い合わせに日本語または英語で解答しなさい。

Answer the following questions in either Japanese or English.

問題 1.

第二言語における語彙習熟度をどのように規定できるかについて、以下の文章に基づき
答案用紙1枚内で述べなさい。

According to the following passage, state how lexical proficiency in a second language can be operationalized. The answer should be written within one answer sheet.

(著作権法に基づき削除)

専門科目（Ⅱ. 英語教育分野：教科専門に関する問題）

2枚のうち 2枚目

（著作権法に基づき削除）

出典：

Berger, C. M., Crossley, S. A., & Kyle, K. (2019). Using native-speaker psycholinguistic norms to predict lexical proficiency and development in second-language production. *Applied Linguistics*, 40(1), 22-42.
の pp. 23-24 に基づき作成

専門科目（III. 英語教育分野：教科教育に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の問い合わせに日本語または英語で解答しなさい。

Answer the following questions in either Japanese or English.

問題 2.

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語活動・外国語編及び中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編では、英語の音声について「現代の標準的な発音」を扱うとしたうえで、「多様な人々とのコミュニケーションが可能となる発音を身に付けさせる」ことが述べられている。（1）「現代の標準的な発音」として具体的にどのようなものがあり得るか、（2）上記の文言を踏まえたうえで、小学校あるいは中学校外国語科においてどのような英語の音声指導（聞くこと、話すこと）がなされるべきかについて、あなたの考えを答案用紙1枚内で述べなさい。

The Guides (Foreign Languages) for Courses of Study for elementary and junior high schools published in 2017 state that English speech should be based on “modern standard pronunciation,” and that teachers should encourage students to “acquire pronunciation that enables communication with various people.” (1) What exactly can be the “modern standard pronunciation?”; (2) how English sound and speech (listening and speaking) should be taught in elementary or junior high school classes, considering the above-mentioned statement of the Guides for Courses of Study? Write your answers to these questions within one answer sheet.